

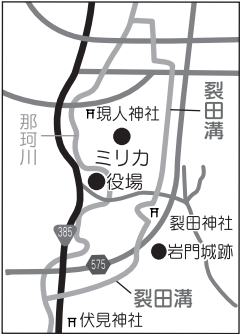
さくたのうなで
散策コース No.3 (山田地区) 裂田溝と周辺の史跡景勝 38～57.

	地域	No.	コースメモ				史跡メモ		
探訪90 裂田溝17	小柳地区周辺	38	汲ん場-ナ	39	橋-10	・	馬の川入れ(牛馬の水のみ場・洗い場)		
		40	汲ん場-ラ	41	橋-11	・	小柳(水辺)の秋景色		
		42	汲ん場-ム	43	汲ん場-ウ	・	石仏(山田の七天神の一つ)		
探訪91 裂田溝18	八田橋周辺	44	橋-12 八田橋			・	一の堰及裂田川 用水路改修記念碑		
		45	排水路			・	敷地蔵(山田の七天神の一つ)		
		46	取水口-④ 嶋添堰-(1)						
探訪92 裂田溝19	嘉七橋周辺	47	落水口(3ヶ所)			・	オニガシマ(共同墓地)	遠望	老林城跡
		48	排水路			・	つつじ園		安徳台(迹驚岡)
		49	橋-13 ナマズ橋						裂田神社裏の岩壁
		50	取水口-⑤ 嶋添堰-(2)						岩門城跡
		51	排水路						高津神社
		52	橋-14 黄ショウブ橋(排水路に架かる)						初御代桜
		53	橋-15 嘉七橋						
探訪93 裂田溝20	嶋添堰③周辺	54	取水口-⑥ 嶋添堰-(3)			・	裂田溝公園		
		55	橋-16 カマツカ橋(魚の名前)			・	裂田溝竣工記念碑		
		56	取水口-⑦ 前川堰巻上げ			・	御立石(ツキガタ石)		
探訪94 裂田溝21	湯浅殿橋周辺	57	橋-17 湯浅殿橋			・	猿田彦(寺山田)		
						・	阿弥陀如来(那珂川八十八ヶ所69番札所)		
						・	母子観世音菩薩(那珂川八十八ヶ所68番札所)		
						・	不動明王(那珂川八十八ヶ所70番札所)		
						・	(伝)少式景資の墓		

探訪 116



那珂川町郷土史研究会



裂田溝43

散策コース表(3)

裂田溝は八田橋を過ぎると川幅もグリーンと広くなり、灌漑期を終えた水路は黄金色に波打つ田んぼへ、最後の水を送っています。この周辺は「裂田溝19」で紹介したときは、まだ橋の名前が決まっていなかったが、その後橋13は「ナマズ橋」に決まりました。名前の由来は、伏見神社の祭神である「神功皇后」が三韓遠征の時、ナマズが現れ水先案内をしたという故事にちなんで命名されました。今もナマズは神魚として山田では大切にされておられ、捕る人も食べる人もいません。誇るべき古里の伝承をこれからも語り継いでほしいと願っています。

次号は、散策コース表(4)を紹介します。

ふだんおだやかに流れる裂田溝も、このたび(7月26日)の豪雨により一部那珂川が氾濫し、西限の那珂川周辺や、山田・安徳の田んぼなどが冠水しました。降り続く雨で24日に那珂川の水位が上昇。すぐ裂田溝の水門が閉じられました。最も増水したのは、薬師川との合流点「倉掛堰」で、水は濁流となり堰を越え道路も冠水しました。今年3月に終了した「水環境整備事業」工事により護岸が強化されたおかげで、水路の被害も少なく、今は水害前の優しい水辺へと戻っています。



裂田神社裏の岩壁

日本書紀によれば「水路を掘る際に大岩が立ちふさがって、前に進めなくなり、そこで神に祈ったところ雷が落ち大岩が裂けて無事水を通すことができた」と言う由来の場所。



増水した裂田溝公園

八田橋下流で増水した水は、裂田溝公園付近でオーバーフロー。遊歩道、車道にあふれ、北側の田んぼへ流れ込んでいた。

